

■■■ 施設見学会 ■■■

エコロジープークこまつ クリーンセンター

企画運営委員会委員 高橋 伸也
(株)神鋼環境ソリューション

1. はじめに

企画運営委員会のメンバー総勢 17 名の参加で恒例の新処理技術施設見学会を開催した。

今年度は、小松市様のご協力のもと、令和元年 11 月 28 日（木）に、エコロジープークこまつクリーンセンターを訪問見学した。

2. 施設概要

1) 所在地：石川県小松市大野町信三郎谷 1

2) 処理方式：

クリーンセンター（可燃ごみ処理施設）

焼却設備：全連ストーカ式焼却炉

熱回収設備：自然循環式単胴形ボイラー

3) 処理能力：

焼却設備：110t/日（55t/24h × 2 炉）

発電設備：定格出力 1,990kW

4) 建築面積：2,940m²

5) 延床面積：6,362m²

6) 工期：平成 27 年 6 月～平成 30 年 6 月

7) 供用開始：平成 30 年 7 月 1 日

3. 見学記

小松市は石川県の西南部に位置する人口約 10 万 8,000 人の都市である。エコロジープークこまつは同一敷地（326,168m²）内にある、可燃ごみ処理施設である「クリーンセンター」、資源ごみ処理施設である「リサイクルセンター」、「最終処分場」の 3 つの施設で構成されている。

今回の見学会では、小松市産業未来部の山口次長からご挨拶をいただいた後、「クリーンセンター」の運営事業者であるグリーンパーク小松(株)(=川崎重工業(株)出資の SPC) 須藤所長、広崎様に「クリーンセンター」の施設概要のご説明、見学・質疑対応をいただいた。

尚、「リサイクルセンター」、「最終処分場」については、上記とは別の民間事業者と市の間で運営委託を締結しているとのことである。

グリーンパーク小松(株)は、20 年間の長期包括運営委託を受けているが、本施設内には自治体の職員はおらず、市民対応サービスや料金徴収業務も含めて委託契約の範囲に入っているとのことである。

小松市「クリーンセンター」の特徴は、110t/日の施設規模、且つ、排水クローズドの条件ながら、発電効率 20.06% の高効率発電を行っていることである。排ガス再循環や、ボイラーを高温高圧化するとともに、低温エコノマイザの採用により回収熱量を最大化している。余剰電力も当初計画値よりも上振れしており、市の収入増に繋がっているとのことであった。



写真1 施設全景

また、小松市では平成28年10月より指定ごみ袋が導入され、一定枚数は無料で指定ごみ袋が配布されるが、それを超える場合は有料にて指定ごみ袋を購入する仕組み（超過従量方式）となっている。以前より小松市はスイカの皮を干してから捨てる習慣があるなど、石川県内において全国平均を下回るごみ減量意識の高い市とのことであったが、指定ごみ袋の導入以降、可燃ごみの排出量は平成20年度と比べさらに約20%減となったとのことであった。また、ごみ減量に伴い資源ごみの内、容器包装ごみの分別される割合が増え、リサイクル率の向上にも繋がったとのことである。超過従量方式による指定ごみ袋の導入は、ごみ減量化やリサイクル率の向上に繋がる有効な施策であるという印象を強く持った。尚、小松市は令和元年7月に国からSDGs未来都市に選定され、可燃ごみ排出量の更なる減量、リサイクル率の向上に向けて意欲的に取り組んでおられる。

4. おわりに

今回見学させていただいた小松市「クリーンセンター」はやさしい色彩の建物で、周辺環境に溶け込んだ施設であった。見学通路も十分な広さが取られ、地域の方々の見学にも配慮されている。廃棄物の処理はもちろんのこと、エネルギー供給の拠点としての役割を十分に果たしている素晴らしい施設であった。

最後になりましたが、この度はご多用な中ご挨拶いただいた小松市産業未来部の山口次長をはじめ、グリーンパーク小松(株)の須藤所長、広崎様に施設の丁寧な説明と見学のご案内をいただきまして、大変お世話になりました。おかげさまで有意義な見学ができたことをここにあらためてお礼申し上げます。



写真2 見学者通路



写真3 集合写真